

意識と認識 情報の共有

行政の一方通行では、行革の成功はあり得ません。そこに町の主体である住民の意志が加わり、共通認識があつてこそ「協働」が生まれます。情報の共有と民・学・官の連携によって、より確かな行革の羅針盤へと近づいていきます。

財政再建だけを目的として、住民サービスの向上を置き去りにすることは、絶対に避けなければなりません。将来への期待と夢を持つことができない町では、そこに住む喜びも半減します。わたしたちが希望を持てるような町の未来図と、計画的、効率的に進める施策が必要になります。

そこで重要になるのが総合計画。福智町ではこのマスタープランを「まちづくり計画」として、8月に発足した30人の審議会で現在協議を進めています。審議会のメンバーは一般公募し、住民の視点からの生の声や希望、それを実現するための工夫ができるだけ反

映できるような計画づくりを目指しています。今後は、厳しい財政状況を踏まえた行政と住民によるまちづくりの役割分担が重要なキーワードになります。「依存」から「自立」そして「協働」へ。行政の枠組みの中に、住民が単に加わるのではなく、新たな方向性を持った行政と住民が、互いに水平の関係で、しかも緊張感を保つたパートナーとして力を合わせることを求められています。

町の自立は、地域の活力なしには語れません。失ったのではなく、見失いかけた地域の資源を掘り起こし、それを生かす知恵と工夫を凝らすことができるか。問題解決



市町村の地方債を担当する福岡県総務部地方課理財係長から7月に現職となった松本孝史助役「新町の基礎づくりと合併効果を表すために、今は最も重要な時期。住民の理解を得ながら行政の見直しと合理化を図っていきたい」



広報の視察に訪れた早稲田大学大学院で政策共有を研究する永尾理恵子さん（神奈川県川崎市）「住民には現状を知る権利があり、行政には説明責任があります。政策も行政情報もいかに見やすく、わかりやすく、オープンにするかが問われる時代です」

FUKUOKA PREFECTURAL UNIVERSITY



3千6百件もの膨大なアンケートデータを打ち込んでいく学生たち。町職員の意識調査を行った。

県立大が町を総合調査

人間社会学科（豊田謙二教授）の演習

福岡県立大学の社会言論演習では、33人の学生が合併や人権福祉、産業、子育てなど6班に分かれて8月からアンケートや現地視察を行っています。調査結果は本年度中にまとめられる予定です。



の糸口は、案外とわたしたちの足元にあるように思われます。

まちづくり計画（総合計画）審議会では、現状を把握しながら、十分に時間をかけて論議し、来年度の答申に向けて10年後の町のありべき姿を探っています。

住民本位の基礎になる本意

住民の意識や行政への認識を図る上で、福岡県立大学による福智町の研究（人間社会学科演習）は、特に重視すべき取り組みです。無作為抽出したおよそ4千2百人の住民を対象に行ったアンケートでは、86%という高い回収率で回答を得ました。この3千6百人のデータが、合併後の住民の意思として、今後のあらゆる施策に活用されます。



←入力されたデータをさらに1件ずつ手作業でチェックしていく。現在、精度の高いデータを割り出すために、地道な作業が続けられています。その後、各分野でめきめきな分析が進められていく。



↑住民の意識や認識を把握することは最も重要で、かつ難しい取り組み。県立大の研究は、町にとって大きな役割を果たすことになる。数年後の追跡調査にも期待がかかる。

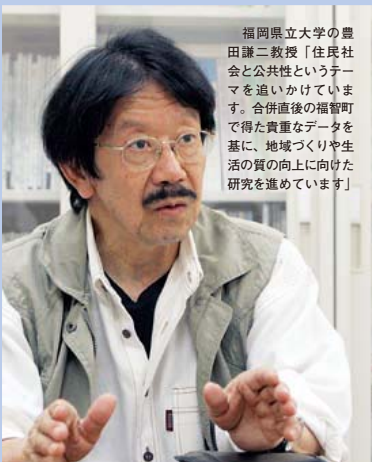
情報の提供を強化しています。

行政による情報提供の充実が「住民本位のまちづくり」と「住民本意をベースにした施策」を実現するための第一歩。公開することが重要なのではなく、提供された多様な情報を基に、住民自身が現状を知り、判断し、積極的にまちづくりに関わってこそ、意味があるのです。伏せておけば時が解決してくれるような事や行政が厳しく指摘されるような内容も、逃げずに、オープンにすることで、問題提起となり、住民との信頼関係がより強く固まっていきます。

←広報「くち7月号」では、合併時における「不納欠抽処理」をおおびし、今後の取り組みを示した。タウンミーティングで寄せられた住民の声はまもなく掲載予定。



まちづくり計画審議会上田毅会長（福岡県立大学助教授）「人材を生かすことで次代の人材を育てる。お金をかけずに人をかけるような総合計画が望ましいと思います。財政状況を踏まえつつ、夢のある町が実現できるよう、審議会で知恵を出し合っています」



福岡県立大学の豊田謙二教授「住民社会と公共性というテーマを追いかけています。合併直後の福智町で得た貴重なデータを基に、地域づくりや生活の質の向上に向けた研究を進めています」